

平成24年度第2回さぬき市図書館協議会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成25年2月19日（火） 13:30～14:50
- 2 場 所 さぬき市志度図書館2階会議室
- 3 出席者 [委 員] 祖父江寛美 山本正子 本間立治 渡邊寛
石川智治 池田洋子
[事務局] 安藤正倫 中野敏記 松岡祐子 六車智穂
[傍 聴] なし
- 4 議 題 (1) 平成24年度さぬき市図書館事業中間報告について
(2) 平成25年度さぬき市図書館事業計画（案）について
(3) 図書館利用状況の推移について
(4) さぬき市子ども読書活動推進会議について
(5) その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	会議に入る前に会議の公開について確認させていただきます。
(委員)	(事務局より会議の公開等の取り扱いについて説明)
(事務局)	(公開することです承)
(事務局)	それでは、ただ今から平成24年度第2回さぬき市図書館協議会を開会します。
(委員長)	本日は、傍聴者はありません。
(事務局)	それでは本日の会議の開催に当たりまして、山本委員長よりご挨拶をお願いしますと思います。よろしくをお願いします。
(委員長)	(委員長あいさつ)
(事務局)	ありがとうございました。
(事務局)	続きまして、安藤教育長よりご挨拶申し上げます。
(事務局)	(教育長あいさつ)
(事務局)	議題に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。
(委員長)	(資料確認)
(委員長)	それでは、議題に移りたいと思います。さぬき市図書館規則第2条第2項によりまして、議事の進行は山本委員長にお願いいたします。
(委員長)	委員長、よろしくをお願いいたします。
(委員長)	それでは議題に移りたいと思います。
(委員長)	議題1、平成24年度さぬき市図書館事業中間報告について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)	(事務局説明)
(委員長)	ありがとうございました。今、質問を受けましょうか。後でまとめて質問を受け付けましょうか。
(委員)	まとめでいいのではないのでしょうか。
(委員長)	それでは、事務局、引き続き説明をお願いします。
(事務局)	(事務局説明)
(委員長)	議題4まで説明が終わりましたので、質疑を受け付けたいと思います。
(委員)	P3の「その他」は何でしょうか。
(事務局)	県立図書館など県内の他の公共図書館のカードを登録して、さぬき市の図書館を利用されている方です。
(委員)	図書館利用状況の推移で、平成21年度、平成23年度は、入館者が減少していますが、何か心当たりはありますか。
(事務局)	平成23年度については、入館者数は減少していますが、貸出利用者数、貸出冊数は増加しています。志度図書館のカウンター機器の不調と寒川図書館の改修工事による休館が関係していると思われます。平成21年度は、資料の収集方針など大きく方向転換したことが原因の一つではないかと思われます。
(委員)	平成25年度に専任館長を配置するということですが、これから館長が担う課題、館長配置の利点を聞かせてください。
(事務局)	過去には専任館長がいた時代もありましたが、数年前から図書館長は生涯学習課長が兼務していました。直属の上司である館長が常駐していないということで様々な支障がありました。平成25年度から常駐館長の配置により、今以上に図書館の運営がスムーズにいき、発展していくことが望まれます。
(委員)	常駐ということは、特別な部屋を持たれて、お客さんが来られたら、その部屋で話しをされたりするのでしょうか。
(事務局)	現状は、そういった部屋がないので、基本的には事務室内で執務を取り、個別に話しがある場合、会議室等を利用することになると思います。
(委員)	昨年10月20日頃、四国新聞に掲載されていた県教育委員会のアンケートでは、中高生の読書離れが鮮明で1カ月に本を読まない人が3割から4割もいます。中高生が本を読む案があれば出して欲しいし、図書館もできるだけバックアップしてあげればどうかと思います。
(委員)	小さい時に本は楽しいものだ気づいたら自然に本に入っていきます。全然読まない子に活字を読ませるのは絶対無理です。小さなころから毎日5分くらいでいいから家庭での読み聞かせをするといいと言われていきます。小さな頃から読書習慣がついていないと難しい気がします。

(委員)	マンガでも読まないよりはいいです。
(委員)	マンガでもすごくいいといいます。とりあえず、活字に入っていないと。常に手が届くところに本があると本の世界に入ります。
(委員)	本は片付けなくて置いておく方がいいそうです。
(委員)	絶対に、正座しなさい、ちゃんと聞きなさいとは言ってはいけないと言われます。絵本はこんなにも苦しいと思ったら本が嫌いになると言われています。小さな頃は、少々聞かなくても席を離れても、お母さんが一生懸命読むと自然に近寄ってきます。
(委員)	以前、中学生に絵本を読んであげたら目をキラキラするという話を聞いて驚きました。
(委員)	中高生が聞くような内容が深い絵本が沢山あります。
(事務局)	物語に関しては、絵本は作家が豊富ですが、物語を書く作家が少ないので読みたい本が少ないのかもしれませんが。物語ではないものを探して紹介していく必要はあると思います。
(委員)	中高生が読んでくれたらいいと思いますが、部活をしていたら本当に時間がありませんね。
(委員)	高校でもコーナーに絵本があるところがあります。絵本から入る子もいます。
(委員)	小学校でも週1回朝読をしています。1年生の時は絵本が多いですが、4年生くらいになると全員が静かに本を読んでいます。国語の教科書の中で読みとるだけではなく読書と並列して課題を持たせながら読むことで読書につなげていけます。
(事務局)	ブックトーク、おはなしくらいだと本は楽しいですよという入り口までかなと思います。最近、アニメーションが授業で取り上げられたりしますが、もう一歩入ったもの、読書で得た力を自分の頭で考えて発表する力、聞くだけで楽しかったら終わりではなく、コミュニケーションを取りながらできるようなものを考えていきたいと思います。本の紹介で終わってしまうのではなく、もう少し踏み込んだ取り組みを試していきたいと思います。
(委員)	アニメーションはすごくいい。ボランティアに研修をしてくださったらいいと思います。アニメーションは子どもたちがおはなしに入ってくる入り口になります。
(事務局)	小学校までできている取り組みが中学校、高校で落ちてしまう。時間的な問題もあると思いますが、忙しい中でどうすればいいのか、具体的に結果が出るような取り組みを考えていかないといけないと思います。
(委員)	学校でしているように5分でも10分でも家で読む方向に向いてくれたらいいと思います。

(委 員)	先程言われましたが、できる時にできる時間、読書に親しむ。家庭とも連携して小さいころから本の楽しみを知っていくと、中学校になっても読んでくれると思います。
(委 員)	志度図書館開館10周年記念行事は何をするのですか。
(事務局)	図書館友の会とも協力して、絵本作家のワークショップ、講演会、10年間の活動のパネル展などを考えています。
(委 員)	入館者数のカウント方法を変更することはできますか。
(事務局)	難しいです。
(委 員)	職員は、人数的にはどうでしょうか。
(事務局)	人が増えると人数的には余裕があるようにみえますが、人のやりくりは難しいです。
(委 員)	他の図書館に男性はいないのですか。
(事務局)	大きな図書館にはいます。
(委員長)	他にありませんか。では、その他何かありますか。
(事務局)	図書館で、おはなし会をしてくださっている「朗読グループどんぐり」が、香川県の社会教育功労者として表彰されました。 前回会議で、「さぬき市の図書館カードを学校図書館で使用できないか」とのご質問を頂いた件ですが、担当課から、相当の予算が必要であるため当面考えておらず、予算厳しき折なので図書の購入に充てたいと思っているとの回答がありました。
(委員長)	他になければ、以上で閉会したいと思います。皆さんありがとうございました。